

# 安来市立伯太中学校 第3学年2組 外国語科（英語）学習指導案

日時：平成24年12月14日（金）

場所：3年2組教室

指導者：杉谷麻衣子 (JTE) /Xochitl Romo (ALT)

## 1. 単元名

Unit 6 Break the Barrier ( New Horizon English Course Book 3)

## 2. 単元のねらい

- ・間違ふことを恐れず積極的に自分の考えや伝えたいことを書く。  
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- ・文献から得た情報をもとに、偉人について読み手が理解しやすいようにレポートをまとめる。  
【外国語表現の能力】
- ・接触節、関係代名詞 ( who , which , that ) を用いた文の構造を理解する。  
【言語や文化についての知識・理解】

## 3. 学習の基盤（生徒観は省略）

### 教材観

本単元では、英語の授業で世界の偉人を一人選び、その人物についてレポートを書くという課題が与えられ、さくらがジャッキー・ロビンソンという人物についてレポートをまとめるという場面を扱っている。文法事項としては、Starting Out では接触節、Dialog では関係代名詞 who, Reading for Communication では関係代名詞 which , that が取り上げられている。接触節や関係代名詞を使うことで、人やものについてより多くの説明が可能なことから、生徒に身近な人や身の回りのものについて深く説明したり、世界の偉人についてレポートをまとめる活動に適した単元と言える。また、内容としては、アメリカ大リーグの歴史を塗り替え、アメリカの人種問題に一石を投じたジャッキー・ロビンソンが取り上げられており、人権や平和などを考えるうえで取り上げる価値のある人物であり、3年生最後の Unit で扱うにふさわしい人物である。

### 指導観

本単元の学習を通して、接触節、関係代名詞の用法、意味を理解し、運用できる力を養いたい。指導の流れとしては、写真や自分の持ち物を提示することで、新出事項を自然に導入し、その後基本文を用いたパタン・プラクティスや教科書本文の音読、ドリルなどを取り入れることで文構造の確実な定着を図りたい。最終的には、ある人物について ALT に紹介するレポートを作成する活動を行うことにより、新出事項を必然性のある形で運用させたい。さらに、既習の表現も取り入れながらその人物の生き方などについて感想を書くことも目指す。レポートをまとめる際には、「偉大な日本人の業績や生涯をレポートにまとめ、ALT に日本人の素晴らしさを伝える」ということを意識させながら取り組ませる。レポートの構成については、その人物の素晴らしさを伝えるインパクトのある前書き、そして、その人物の生涯について書くという流れで指導していく。

## 4. 単元の評価規準

ア. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ. 外国語表現の能力	ウ. 外国語理解の能力	エ. 言語や文化についての知識・理解
①間違ふことを恐れずに積極的に自分の考えや伝えたいことを書いている。 (書くこと・言語活動への取組)	①文献から得た情報をもとに、偉人について読み手が理解しやすいように英語でレポートをまとめることができる。 (書くこと・適切な筆記)	/	①接触節を用いた文の構造を理解している。 ②関係代名詞を用いた文の構造を理解している。 (書くこと・言語についての知識)

5. 単元の指導計画

時	ねらいと主な学習活動（ ○ねらい ・学習活動 ）	評価規準	評価の方法
1	○本単元で身に付ける文の構造や大まかな内容を知る。 ・ warm-up として、世界の偉人たちの写真を示し、どんな業績を残してきた人たちなのかを述べ合う。 ・ 本単元で身に付ける技能や理解する内容を知る。		
	○接触節を用いた文の構造を理解する。 ・ 教科書の本文を通して、接触節を用いた文の構造を知る。 ・ 接触節を用いて、人や物、場所などを説明する練習をする。	エの①	ペーパーテスト(後日)
2	○関係代名詞(who)を用いた文の構造を理解する。 ・ 教科書の本文を通して、関係代名詞(who)を用いた文の構造を知る。 ・ 関係代名詞(who)を用いて、人について説明する練習をする。	エの②	ペーパーテスト(後日) ノート
3	○関係代名詞(which)【主格】を用いた文の構造を理解する。 ・ 教科書の本文を通して、関係代名詞(which)を用いた文の構造を知る。 ・ 関係代名詞(which)を用いて、物について説明する練習をする。 ・ 教科書本文を通して、ジャッキー・ロビンソンが残した業績について理解する。	エの②	ペーパーテスト(後日)
4	○関係代名詞(that,which)【目的格】を用いた文の構造を理解する。 ・ 教科書の本文を通して、関係代名詞(that)を用いた文の構造を知る。 ・ 関係代名詞(that,which)を用いて、物について説明する練習をする。 ・ 教科書本文を通して、ジャッキー・ロビンソンの生涯について理解する。	エの②	ペーパーテスト(後日)
5	○ジャッキー・ロビンソンの伝記を読んだ感想を書く。 ・ ジャッキー・ロビンソンの伝記を読む。 ・ ジャッキー・ロビンソンのレポートを完成させる。 ・ 伝記を読んだ感想を、必要に応じて辞書を活用しながら書く。	アの①	活動の観察
6 本 時	○その人物の素晴らしさを伝える偉人紹介の前書きを書く。 ・ 読み手が理解しやすいレポートについて理解する。 ・ 偉人紹介のレポート(前書き)を書く。(個人) ・ 偉人紹介のレポート(前書き)を書く。(グループ、おしゃべりボード) ・ おしゃべりボードを黒板にはり、全体で共有する。 ・ 偉人紹介のレポート(前書き)を完成させる。(個人)	イの①	ワークシート
7 8	○日本の偉人についてのレポートをまとめ、その人物の生き方などについて自分の考えを書く。 ・ ALT に紹介したい日本の偉人について情報を集める。 ・ 偉人についてのレポートをまとめる。 ・ 偉人の生き方などについて、自分の考えを書く。	イの① アの①	レポート 活動の観察
後 日	〈ペーパーテスト〉 ◇接触節や関係代名詞を用いた文の構造についての理解をみる 問題	エの①②	ペーパーテスト

6. 本時の学習

(1)ねらい

- ・文献から得た情報をもとに、偉人について読み手が理解しやすいようにレポートをまとめる。(前書き)

【外国語表現の能力】

(2)本時の展開

時間	生徒の活動と評価	教師の支援 (☆ JTE ★ ALT)
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○英語であいさつ</li> <li>○すらすら英会話 (ペア)</li> <li>○ English Song "We are the world."</li> <li>○有名人について説明する例文を練習する。</li> <li>○本時の目標と活動の流れを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆★英語の雰囲気づくりができるよう、自然なあいさつをする。発音などのチェックをする。</li> <li>☆見通しが持てるように、目標と流れを提示する。</li> </ul>
40	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ALT の用意したレポート (前書き) を読む。</li> <li>○読み手を引きつけるレポートについて考える。</li> <li>○日本の偉人について前書きを書く。(Step1,個人)</li> <li>○グループで前書きをホワイトボードに書く。</li> <li>○全体で共有する。</li> <li>○再度前書きを書く。(Step2,個人)</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>文献から得た情報をもとに、その人物の素晴らしさを伝える偉人紹介の前書きを書くことができる。 (ワークシート)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆未習語を確認しながら、内容を理解させる。</li> <li>☆前書きで使われている表現を確認する。</li> <li>☆書けていない生徒に例文を提示する。</li> <li>★机間指導しながら、より自然な表現になるようアドバイスする。</li> <li>★☆より自然な表現になるようアドバイスする。</li> <li>★参考になる表現についてコメントする。</li> <li>☆自分のグループだけでなく、他のグループの使える表現も取り入れさせる。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ALT からのコメントを聞く。</li> <li>○次時の課題を聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆★次時の活動に自信を持ってのぞめるよう、よかった点を中心に評価する。</li> </ul>

(3)評価

観点	満足と判断される生徒の姿	おおむね満足と判断される生徒の姿	支援を必要とする生徒への指導の手立て
外国語表現の能力	文献から得た情報をもとに、その人物の素晴らしさなどを伝える偉人紹介の前書きを書くことができる。	文献から得た情報をもとに、偉人紹介の前書きを書くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の本文や、グループ・全体で共有した表現を参考にさせる。</li> <li>・個別指導で、人物を紹介する際によく使われる表現をヒントとして示す。</li> </ul>

# Let's write a report on Tezuka Osamu ! (the first part)

Name( )

## Step 1

-----  
-----  
-----  
-----  
-----

## Step 2

----- ----- ----- ----- -----
-------------------------------------------

手塚治虫（てづかおさむ）とは、漫画の神様と呼ばれている偉大な漫画家である。彼のおかげで、日本がアニメ、漫画大国として海外に知られるようになった。

### 概要

1928年～1989年 享年60。職業は漫画家。

大阪大学医学部医学科卒業。医師免許を持っていた。医学博士。

- 想像力豊かな少年だった。
- 昆虫をこよなく愛し、自身のペンネームに「虫」という字を当てた。
- 戦争体験から生命の尊さを知り、医学の道を志したが、結局一番望んだ職業を選んだ。

### 漫画の神様

手塚治虫がいなかったら、今日の日本のマンガ文化、アニメ文化は間違いなく存在しなかった。彼が生み出した漫画の表現技法の多くは現在でも使われている。彼は漫画を魅力的な芸術にした。彼の作品は、文学や映画にも影響を与えた。

### 偉業

日本のストーリー漫画の開祖として知られる。日本初の1話30分の連続TVアニメを作った人物。音が無いときの「シーン」や物が消えるときの「フッ」、葉っぱが落ちるときの「ヒラヒラ」の音は彼の発明。

第二次世界大戦中にもこっそり漫画を描きまくった。

彼の漫画は第二次世界大戦後の日本の若者に大きな影響を与えた。

彼の作品は、アメリカ、ヨーロッパ、アジアの各国にも輸出され、世界の子供達にも夢を与えた。彼の作品には、手塚の永遠のテーマである「生命の尊さ」が貫かれている。

### 最後

手塚治虫は胃癌の最中に病院のベットでも漫画を描きつづけ凄まじい最後を遂げる。

もう普通なら漫画なんて描ける状態ではないのに手塚は漫画を描くのを止めなかった。

本当に最後の最後まで描こうとした。彼の最後の言葉は「仕事をさせてくれ」であった・・・。

[TezukaOsamu.net/jp](http://TezukaOsamu.net/jp) > 手塚治虫について > プロフィール

Let's write a report!  
～日本の偉人、その人物の素晴らしさを伝えよう～

(日)

(英)

( ) - ( )

Handwriting practice lines consisting of multiple sets of horizontal dashed lines on a white background.